

日本語学習支援ネットワーク会議 2022 in いわて

# 地域日本語教育再考

—なぜ、日本語が求められているか?—

2022年 12月3日(土) 10:00~15:40

参加無料

岩手大学学生センターC棟

zoom配信あり(先着100名)

人口減少、少子高齢化が進む日本では、都市部だけでなく外国人散在地域にも多様な外国人が中長期にわたって住むようになり、この傾向は今後も続くことが予想されています。

2019年には日本語教育推進に関する法律が施行され、自治体や企業などにも日本語教育の推進に関わる責務が示されました。岩手県では2021年度から文化庁の助成を受けて「地域日本語教育推進体制整備事業」を進めています。このイベントでは「地域日本語教育再考」をテーマに参加者の皆さまとともに外国人を受け入れるための日本語教育の在り方について話し合いながら新たなネットワークを築きます。皆さまのご参加をお待ちしております。

【午前】10:00-12:30 MODILワークショップ1

「外国人散在地域で進める  
日本語教育・学習支援体制」

◎情報提供

- 文化庁地域日本語教育推進事業  
増田麻美子氏(文化庁国語課)
  - 岩手県地域日本語教育推進体制整備事業  
佐々木葵氏(岩手県国際交流協会  
地域日本語教育事業総括コーディネーター)
  - なか東北地域日本語教育専門人材育成事業  
内海由美子氏(山形大学)
- 進行：嶺岸玲子氏(盛岡大学)

◎情報交換 グループでの情報交換

※昼休みに書籍展示があります！

【午後】13:30-15:40 MODILワークショップ2

「働く外国人と日本語」

◎講演：外国人就労者の日本語教育と  
地域における日本語支援  
幕田順子氏(ふくしま多言語フォーラム)

◎座談会：働く人と日本語  
山口直也氏(北日本金型工業)  
ブイ・バン・ホック氏  
(福島国際交流事業協同組合)  
進行 松岡洋子(岩手大学)

◎閉会の辞・次回開催予定地あいさつ

主催：日本語学習支援ネットワーク会議2022 in いわて実行委員会  
岩手大学国際教育センター

共催：盛岡大学言語教育研究委員会(MODIL) (公財)岩手県国際交流協会  
問い合わせ：岩手大学国際教育センター(松岡) yokomat@iwate-u.ac.jp

申し込み：<https://forms.gle/ne2QM27BcLmy3NZZ7>



アクセス



申し込み